

平成 30 年度 疫学衛生学教室 MPH コース 修士課程 1 年 藤永 潤 さん (医師) より
メッセージ



今年度、大学院医歯薬学総合研究科修士課程 MPH コースに入学いたしました藤永 潤と申します。

大学卒業後、今年で 10 年目となります。これまでは主に救急、集中治療の分野に従事してまいりました。その中で、一般の方もさることながら医療職においてすらも救急医療への誤解や集中治療への不十分な認知をしばしば感じておりました。それはきっと救急医や集中治療医にも責任の一端があるのだと思います。

これまでは臨床の傍ら上級医に指導を受け臨床研究を行ったり、論文を書いたりもしました。しかし自己流、独学では不十分と感じていた中で出会ったのが MPH コースでした。

入学後は臨床を継続しながら学生生活を続けることができます。疫学・衛生学教室の学生のみでの授業が多いため、先生方とも距離が近く、自由に気兼ねなく議論が交わされます。これまで疫学や統計学に関して、いかに浅く自己流の理解であったかと反省し、集中的に体系だって学ぶことができます。勿論、自ら能動的に学ぶことが重要であると感じつつ。。。

疫学だけでなく、高齢者医療、医療政策、医療経済など広い範囲にわたっての授業を受けられること、さまざまな講師の先生方、幅広いバックグラウンドの同級生に出会えることも刺激となっています。MPH コースはどのような形であっても、きっと今後に生かせる貴重な 2 年間になるだろうと思います。